

# 千葉大学 大学院看護学研究科



看護学を構成  
する4要素

看護学は人間、環境への働きかけを通して、人間の健康の脅かしを改善するために必要な支援技術、資源・制度、人々の価値観の創造に関与する実践科学

地域創成看護学 教育研究分野  
地域看護学領域

宮崎 美砂子



School of Nursing &  
Graduate School of  
Nursing, Chiba University

# 看護と環境との関係は不可分



看護学を構成する4要素



フローレンス・ナイチンゲール (Florence Nightingale; 1820-1910)

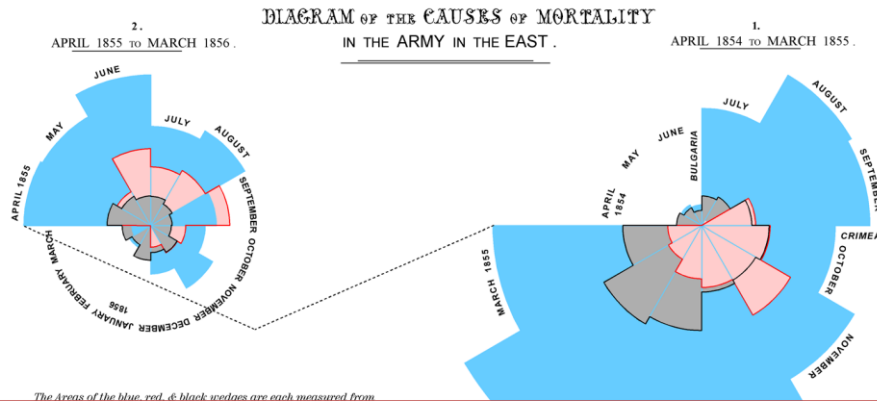
- 患者の身体、精神の健康を高めるには衛生的な環境が重要と考え、患者の健康の悪化・改善に、環境がどのような影響を及ぼすかを追究。換気、保温、陽光、食事、清潔さ、物音などの環境に関するデータを収集し、統計を用いて環境改善の根拠を提示

- その研究結果を基に社会(官僚)に訴え、傷病者のケアに対する社会の姿勢を変えさせ、患者に適切な食事と清潔な病室が提供されるようになった

- それにより、当時のクリミア戦争での傷病者の死亡率は43%から2%へと激減した

<http://www.Florence-Nightingale-Avengeing-Angel.co.uk/Coxcomb.htm>

Diagram by Florence Nightingale, corrected by Hugh Small



標準的なグラフ表現が確立していなかった時代において「イギリス陸軍の病棟内での死亡率の高さ」を示した

# わが国の健康問題の変遷

<b>昭和20年～35年</b> 「伝染病, 結核」				
抗生剤の開発と普及	公衆衛生の普及	生活水準の向上	乳児死亡率の改善	結核死亡率の激減

<b>昭和35～50年代</b> 「成人病(生活習慣病), 脳卒中, がん, 寝たきり」
医療ばかりでなく, 福祉や保健の課題として制度, 施策の充実が加速化

<b>平成の時代以降</b> 「生活習慣病, こころの問題, 育児不安, 認知症」 など
個人の生活の質の重視, その一方で, <b>問題をもつ人の孤立化, 潜在化</b>

根拠に基づいた対策の重視

医療, 福祉, 保健の制度・施策の充実だけでは対応できない問題の出現

地域の人々の経験や能力を活かし, 様々な関係者と協働しながら  
取り組む活動による対応

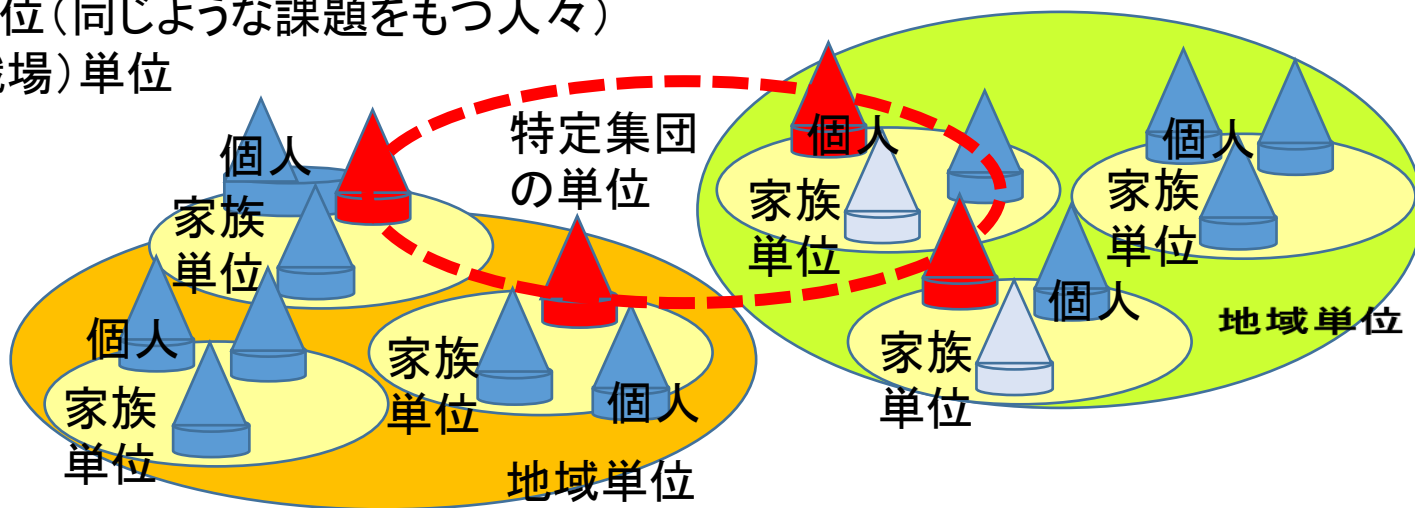
# 地域看護学・公衆衛生看護学

- 家庭や地域など、**人々の生活の場**において、人々の生命、健康、生活をまもり、その質を高めていく支援方法を追究
- 具体的には、**保健師 (Public Health Nurse) の実践活動 (公衆衛生看護 Public Health Nursing) を支える、理論・技術の開発、それらの社会への適用・普及**に取り組む

## Public Health Nursingにおける対象(問題)への関与の仕方

→ 複数の単位で、重層的に、捉え、関わる(鳥の目・虫の目)

- 個人単位、家族単位
- 特定集団の単位(同じような課題をもつ人々)
- 地域(学校、職場)単位



# 地域看護学・公衆衛生看護学が創造する知の例

予防に関する援助技術

家族及び地域を単位とした育児、健康増進、介護の支援方法

地域住民との共働による地域づくりの方法

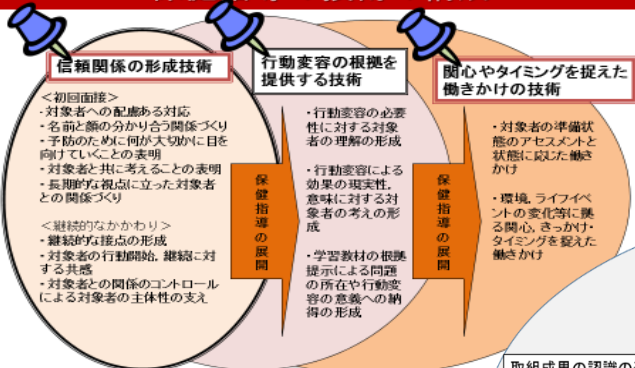
人々に寄与する保健福祉サービスの質向上

自然災害等の健康危機に対する支援方法

現場の看護職との協働による実践知の解明と理論化・技術化

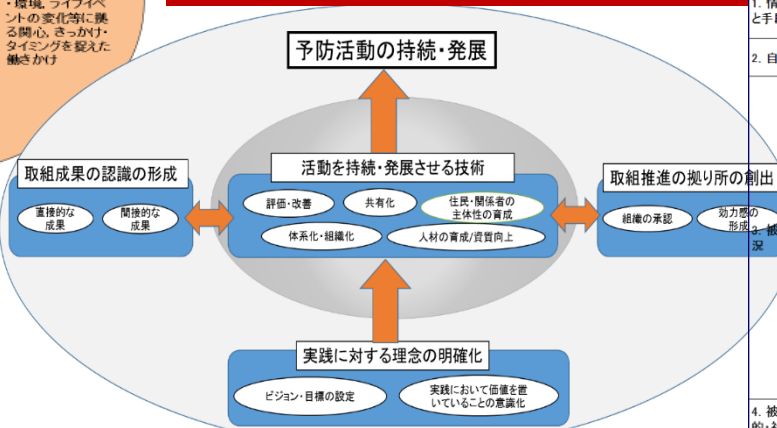
災害時の支援人材等のマネジメント評価指標  
(抜粋例：県本庁,発災直後)

健康づくりの主体性を育てる保健指導の技術の構成



参加観察、インタビュー、デルファイ調査等

予防活動の持続・発展のための地域看護実践モデル



・金川克子, 宮崎美砂子他:新しい特定健診・特定保健指導のすすめ方, 中央法規, 2007.

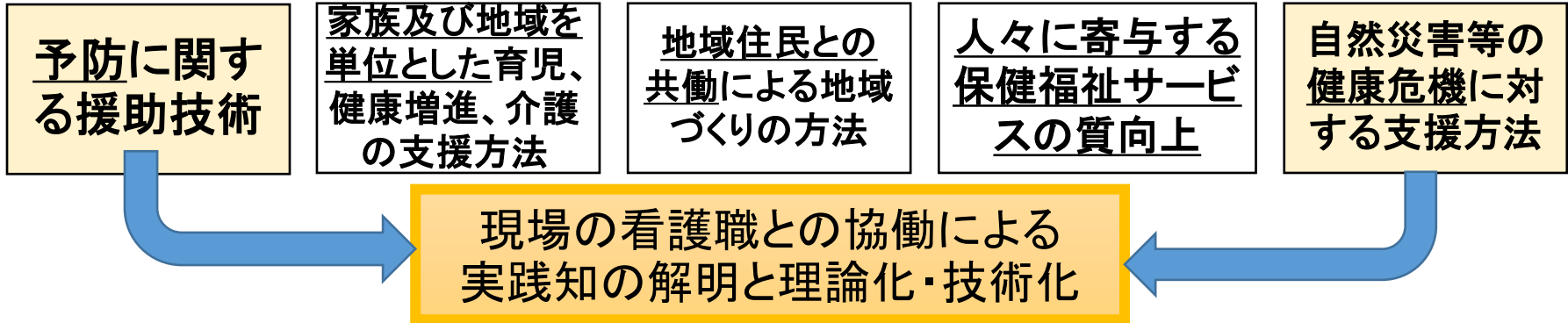
・金川克子監修, 宮崎美砂子編集:効果的な面接技術と事業展開から学ぶ保健指導, 中央法規, 2009.

平成25年度～28年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B)予防活動の持続・発展のための地域看護実践ガイドの作成と普及に関する研究 (研究代表者宮崎美砂子)

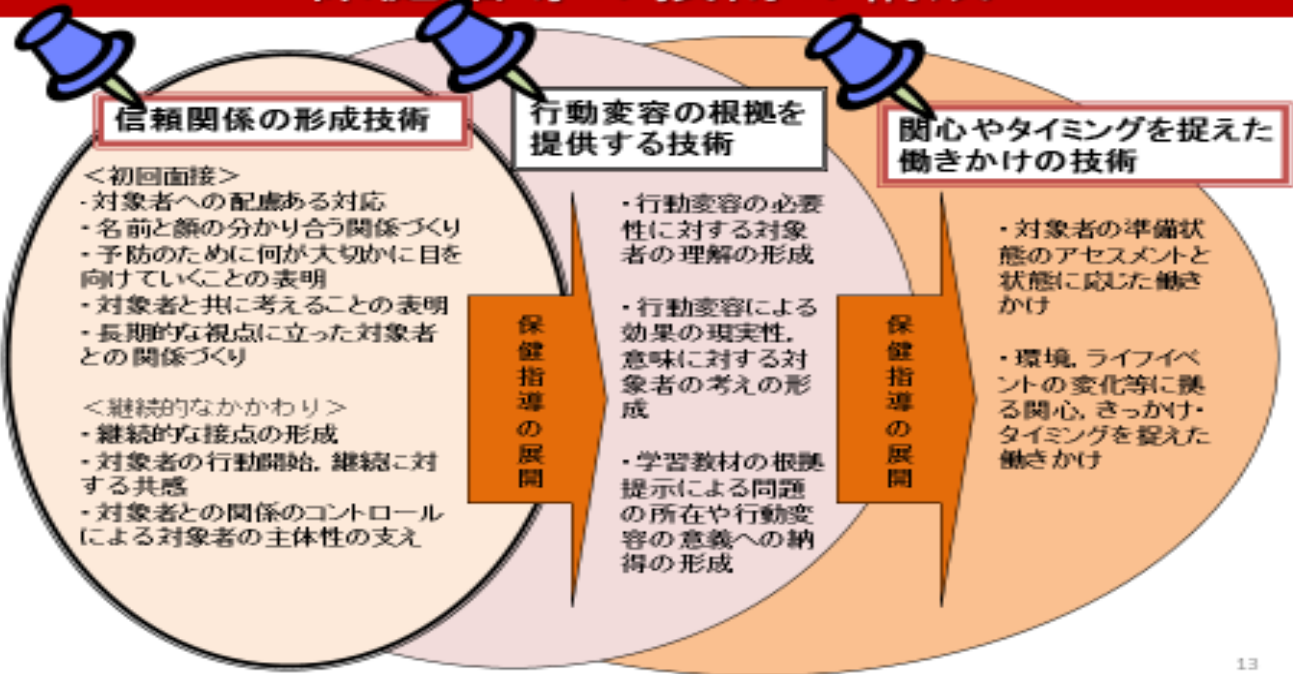
平成27年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)大規模災害復興期等における地域保健活動拠点のマネジメント機能促進のための評価指標ツール開発に関する研究(研究代表者:宮崎美砂子)

活動の目的	被害状況の把握、初動の体制づくり																																																
活動拠点における取組の焦点	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災保健所・市町村への応援人員の必要性・人数の判断</li> <li>県内支援者確保の調整</li> <li>県外からの派遣者要請の判断</li> <li>緊急医療の確保のための調整</li> </ul>																																																
<b>1. 被災地のアセスメント</b>																																																	
<b>〇地域アセスメント</b>																																																	
1. 情報収集・伝達の窓口と手段	<table border="1"> <tr> <td>【全保健所圏域の情報収集・伝達の窓口と手段の確保】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>・通信途絶等の場合は、保健所の活動拠点へ情報収集の職員チームを派遣</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	【全保健所圏域の情報収集・伝達の窓口と手段の確保】	検討済	検討中	未対応	・通信途絶等の場合は、保健所の活動拠点へ情報収集の職員チームを派遣																																											
【全保健所圏域の情報収集・伝達の窓口と手段の確保】	検討済	検討中	未対応																																														
・通信途絶等の場合は、保健所の活動拠点へ情報収集の職員チームを派遣																																																	
2. 自治体の取組体制	<table border="1"> <tr> <td>【県の災害対策方針に連動した保健福祉災害対応計画の立案】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>【県内の被害状況の迅速把握】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>・ライフラインの被害状況(電気・ガス・上下水道、通信、道路・鉄道・空港・港・ヘリポート等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・家屋・建物の倒壊状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・死者、重症者、行方不明者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【建物損壊等により住民の健康に影響を及ぼす可能性のある施設(化学製品工場等)の被害と住民への影響】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>【被害甚大な保健所圏域・市町村の特定】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>【各被災保健所圏域の救護所・避難所・福祉避難所の開設・収容状況の情報収集】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>・避難者数、年代・性別、要援護者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・救護所数、受援状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【各被災保健所圏域の避難者の分散状況(避難所、車中、自宅等)についての情報収集】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> <tr> <td>【各被災保健所圏域の生活物資(飲料水・食糧・日用品)の充足状況】についての情報収集</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> </table>	【県の災害対策方針に連動した保健福祉災害対応計画の立案】	検討済	検討中	未対応	【県内の被害状況の迅速把握】	検討済	検討中	未対応	・ライフラインの被害状況(電気・ガス・上下水道、通信、道路・鉄道・空港・港・ヘリポート等)				・家屋・建物の倒壊状況				・死者、重症者、行方不明者				【建物損壊等により住民の健康に影響を及ぼす可能性のある施設(化学製品工場等)の被害と住民への影響】	検討済	検討中	未対応	【被害甚大な保健所圏域・市町村の特定】	検討済	検討中	未対応	【各被災保健所圏域の救護所・避難所・福祉避難所の開設・収容状況の情報収集】	検討済	検討中	未対応	・避難者数、年代・性別、要援護者数				・救護所数、受援状況				【各被災保健所圏域の避難者の分散状況(避難所、車中、自宅等)についての情報収集】	検討済	検討中	未対応	【各被災保健所圏域の生活物資(飲料水・食糧・日用品)の充足状況】についての情報収集	検討済	検討中	未対応
【県の災害対策方針に連動した保健福祉災害対応計画の立案】	検討済	検討中	未対応																																														
【県内の被害状況の迅速把握】	検討済	検討中	未対応																																														
・ライフラインの被害状況(電気・ガス・上下水道、通信、道路・鉄道・空港・港・ヘリポート等)																																																	
・家屋・建物の倒壊状況																																																	
・死者、重症者、行方不明者																																																	
【建物損壊等により住民の健康に影響を及ぼす可能性のある施設(化学製品工場等)の被害と住民への影響】	検討済	検討中	未対応																																														
【被害甚大な保健所圏域・市町村の特定】	検討済	検討中	未対応																																														
【各被災保健所圏域の救護所・避難所・福祉避難所の開設・収容状況の情報収集】	検討済	検討中	未対応																																														
・避難者数、年代・性別、要援護者数																																																	
・救護所数、受援状況																																																	
【各被災保健所圏域の避難者の分散状況(避難所、車中、自宅等)についての情報収集】	検討済	検討中	未対応																																														
【各被災保健所圏域の生活物資(飲料水・食糧・日用品)の充足状況】についての情報収集	検討済	検討中	未対応																																														
4. 被災地の背景、物理的・社会的環境	<table border="1"> <tr> <td>【各被災保健所圏域の災害履歴、地理的・社会的環境の特徴、地域の風土・慣習】</td> <td>検討済</td> <td>検討中</td> <td>未対応</td> </tr> </table>	【各被災保健所圏域の災害履歴、地理的・社会的環境の特徴、地域の風土・慣習】	検討済	検討中	未対応																																												
【各被災保健所圏域の災害履歴、地理的・社会的環境の特徴、地域の風土・慣習】	検討済	検討中	未対応																																														

# 地域看護学・公衆衛生看護学が創造する知の例



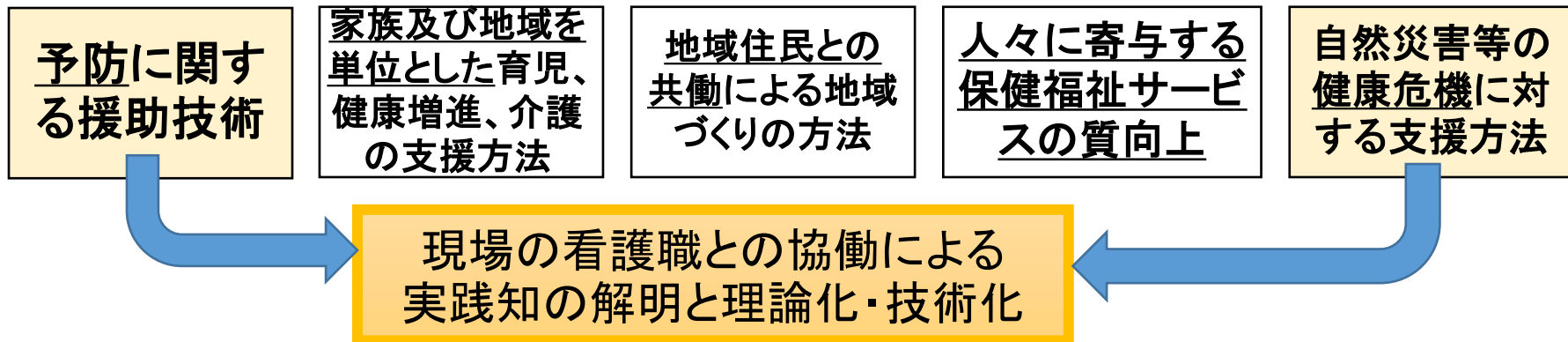
## 健康づくりの主体性を育てる 保健指導の技術の構成



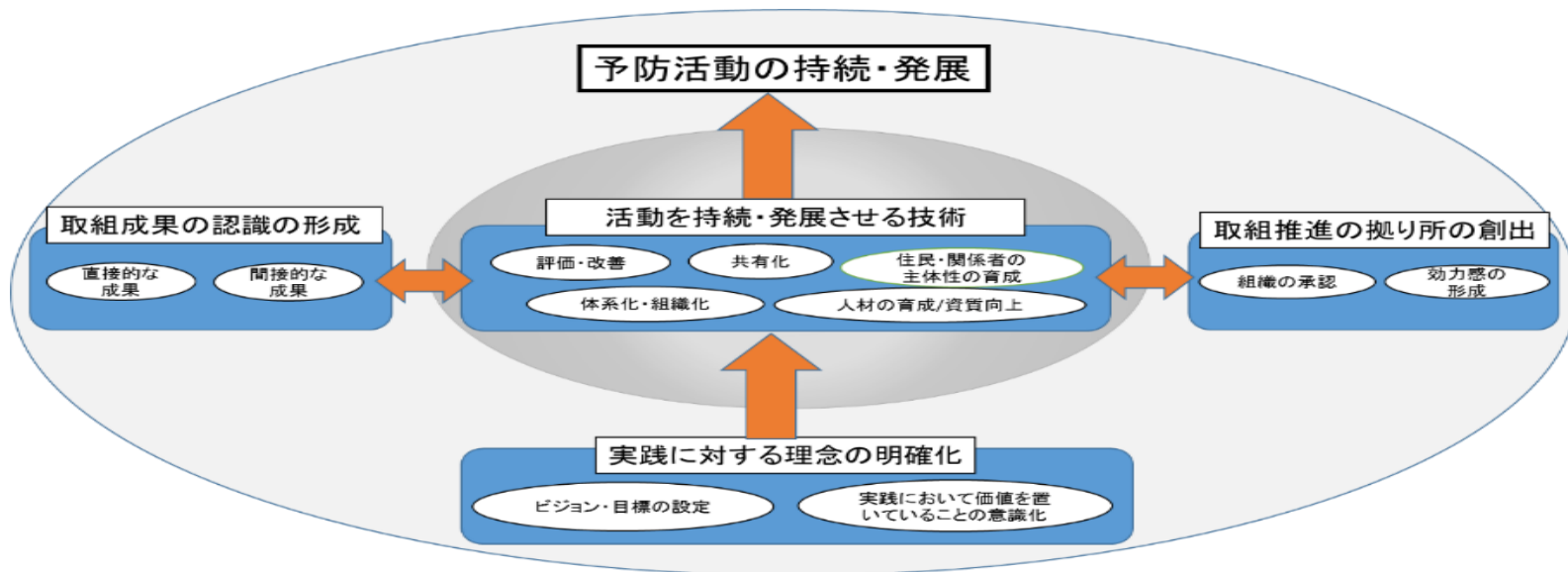
・金川克子, 宮崎美砂子他: 新しい特定 健診・特定保健指導のすすめ方, 中央法規, 2007.  
 ・金川克子監修, 宮崎美砂子編集: 効果的な面接技術と事業展開から学ぶ保健指導, 中央法規, 2009.



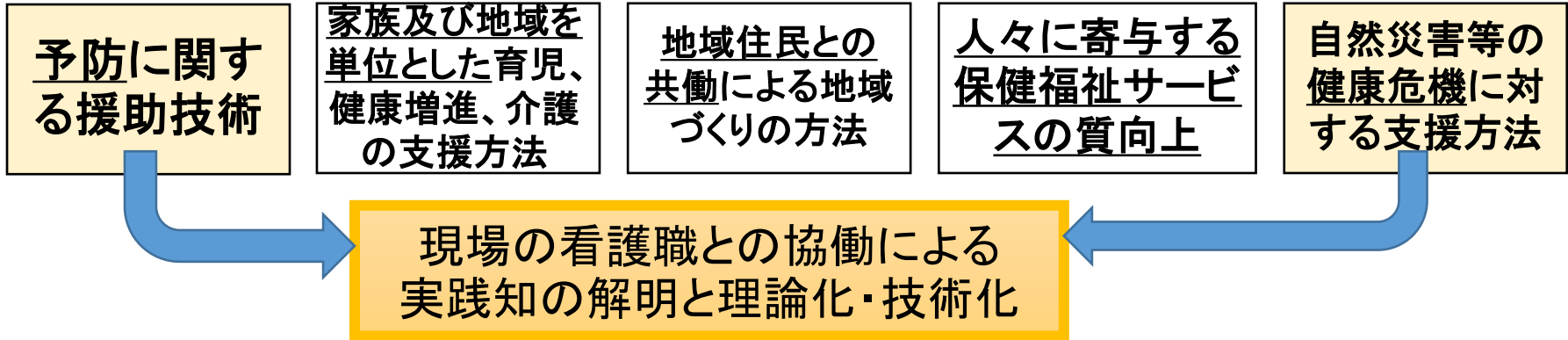
# 地域看護学・公衆衛生看護学が創造する知の例



## 予防活動の持続・発展のための地域看護実践モデル



# 地域看護学・公衆衛生看護学が創造する知の例



## 災害時の支援人材等のマネジメント評価指標 (以下抜粋：県本庁,発災直後)

活動の目的	被害状況の把握、初動の体制づくり			
活動拠点における取組の焦点	<ul style="list-style-type: none"> <li>-被災保健所・市町村への応援人員の必要性・人数の判断</li> <li>-県内支援者確保の調整</li> <li>-県外からの派遣者要請の判断</li> <li>-緊急医療の確保のための調整</li> </ul>			
<b>I.被災地のアセスメント</b>				
<b>○地域アセスメント</b>				
1. 情報収集・伝達の窓口と手段	【全保健所圏域の情報収集・伝達の窓口と手段の確保】 ・通信途絶等の場合は、保健所の活動拠点へ情報収集の職員チームを派遣	検討済	検討中	未対応
2. 自治体の取組体制	【県の災害対策方針に運動した保健福祉災害対応計画の立案】	検討済	検討中	未対応
3. 被害及び被災者の状況	【県内の被害状況の迅速把握】 ・ライフラインの被害状況(電気・ガス・上下水道、通信、道路・鉄道・空港・港・ヘリポート等) ・家屋・建物の倒壊状況 ・死者、重症者、行方不明者	検討済	検討中	未対応
	【建物損壊等により住民の健康に影響を及ぼす可能性のある施設(化学薬品工場等)の被害と住民への影響】	検討済	検討中	未対応
	【被害甚大な保健所圏域・市町村の特定】	検討済	検討中	未対応
	【各被災保健所圏域の救護所・避難所・福祉避難所の開設・収容状況の情報収集】 ・避難者数、年代・性別、要援護者数 ・救護所数、受療状況	検討済	検討中	未対応
	【各被災保健所圏域の避難者の分散状況(避難所、車中、自宅等)についての情報収集】	検討済	検討中	未対応
4. 被災地の背景、物理的・社会経済的環境	【各被災保健所圏域の災害履歴、地理的・社会経済的環境の特徴、地域の風土・慣習】	検討済	検討中	未対応

平成27年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)大規模災害復興期等における地域保健活動拠点のマネジメント機能促進のための評価指標ツール開発に関する研究(研究代表者:宮崎 美砂子)



# 地域看護学・公衆衛生看護学のアプローチと環境との関係

従来より**環境は健康被害との関係で取り上げられることが多かった**

例) 大気汚染と呼吸器疾患、水汚染と感染症蔓延、気温上昇と熱中症、騒音と聴力障害

## Future Earth への期待

**環境を、健康に対して有用な資源・価値を創造するものとしてアセスメントし、健康づくりに積極的に活用する方法を開発・普及**

個人への直接的支援

既存資料の分析  
調査実施

地域を単位とした問題、ニーズの把握

地域を単位とした活動(事業・施策)の企画・実施・評価

国家レベルでの施策展開・技術の普及

**個人の健康問題**の背景にある問題構造(**環境**、**慣習**等の要因)の把握

個人の背景にある問題構造を集積し、**地域において組織的に解決が必要な問題**の特定

組織的解決が必要な問題に対して**様々な人々と協働**して地域全体に貢献し得る、**支援体制や仕組みを創造**

健康相談

既存資料の分析

複数の手段を通して得た地区情報の整理 → 地域に必要なシステム・仕組みの検討

家庭訪問

調査実施

健康教育

問題や対策について住民との意見交換  
→ 住民との協働による問題解決